

令和七年（二〇二五年）度企画展

一字庵の継承

―菊舎から手渡されたバトニー―

開催日程

九月九日（火）から

十一月十六日（日）まで

主催 下関市立豊北歴史民俗資料館
共催 菊舎顕彰会

関連イベント案内

※詳細は当館ホームページまたは
当館へお問い合わせください。

九月九日（火）	十時～	開会式・ギャラリートーク（岡昌子・学芸員）
九月二十八日（日）	十一時～	講演【一字庵の危機・中山忠光事件と継承者の苦悩】（講師：岡昌子）
十月十二日（日）	十四時～	講座【大人と子どものやさしい俳句入門】（講師 内田恒生）
十月十九日（日）	十時～	立机式（参加自由です。お気軽にお越しください。）
十一月二日（日）	十四時～	講演【菊舎・みちのく一人旅】（弁士：堀美佐江）
十一月十六日（日）	十時～	ギャラリートーク（学芸員）
	十四時～	ギャラリートーク（岡昌子）



一字庵継承付属資料『十論為辨抄』より芭蕉二見形文台の図

豊北町で
継承を受け
静かに美
継がれる
継承の精
神

二百年
受け継が
る伝統
の継承

下関市立豊北歴史民俗資料館「太翔館」

〒759-5511 下関市豊北町大字滝部3153-1

〈お問合せ〉TEL&FAX 083-782-1651

【料金】入館観覧 無料

【開館】9:00～17:00（入館は16:30まで）

【休館】月曜日（月曜祝日の場合は翌平日）

風雅のかたち、二百年の継承

江戸時代の女性俳人で、下関を代表する田上菊舎（本名・田上ミチ）は、松尾芭蕉の流れをくむ美濃派六世・大野傘狂より「二字庵」の庵号を贈られました。この「一字庵」は菊舎が生まれた豊北町田耕と、晩年を過ごした長府で継承されました。

しかし、長府は昭和二十二年（一九四七年）の大火で継承の証である文台が焼失したことで途絶えてしまい、現在では田耕のみが十一代の今日まで受け継いでいます。

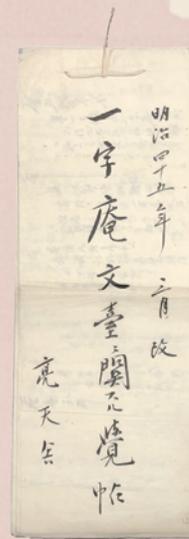
この度、令和七年十月十九日（日）に、現宗匠から新たな宗匠へと継承される儀式「立机式」が挙行されます。そして、一字庵の文台と共に付属品の数々も一字庵十二世へと引き継がれます。

しかし、田耕においても、一字庵の流れは、決して平坦なものではありませんでした。



一字庵六世立机の綴り帖「根分菊」（菊舎顕彰会寄託資料）

田耕で枝分れした 一字庵の系譜と、 文台付属品散逸の 危機の記録



百菊園関係資料「一字庵文台に関する覚帖」（菊舎顕彰会寄託資料）



百菊園関係資料「二見形曳杖」（菊舎顕彰会寄託資料）

繋がれた一字庵文台と

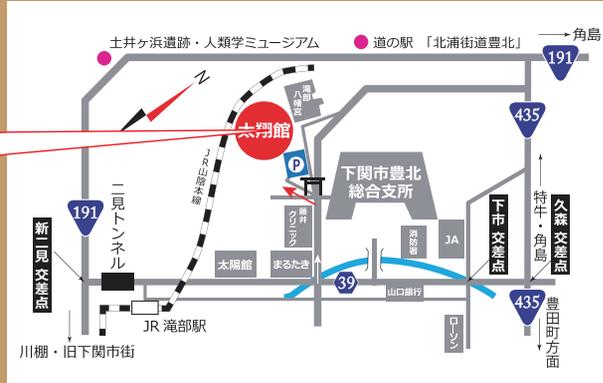
風雅へのバトン

俳諧の世界における文台とは、俳諧の記録を取るための机でもあります。単なる道具ではなく、「座の文芸」の精神を具現化するものとして尊重され、代々の宗匠が受け継いできた品です。

本展示では、菊舎顕彰会から寄託を受けた資料をもとに、中山忠光暗殺事件が一字庵の継承者たちに与えた苦悩や、分岐の時代を越えた継承の歩みを紹介いたします。受け継がれてきた貴重な品々を、ぜひご覧ください。



当館は「旧滝部小学校」を活用した資料館で、建物は山口県指定有形文化財（建造物）に指定されています。



交通情報 令和5年度に発生した災害の影響で交通機関に一部制限があります。最新情報は各関係機関へご連絡ください。
 【鉄道】JR山陰本線 滝部駅下車 徒歩約15分
 【自動車】九州方面より/小月ICから約45分
 広島方面より/美祢ICから約47分
 【駐車場】8台※マイクロバス可



太翔館
instagram



太翔館



太翔館 HP

下関市立豊北歴史民俗資料館「太翔館」
 〒759-5511 下関市豊北町大字滝部3153-1
 〈お問合せ〉TEL&FAX 083-782-1651